

舞踊における創造性測定の指標に関する研究(2)

一 創造性と舞踊のイメージ能力の関係について一

原 田 純 子
柴 真 理 子

1. はじめに

創造性とイメージの関係については、Hensel(1930)が、「創造性にはイメージの鮮明性が不可欠であり、不鮮明なイメージに付随した抽象的思考は創造性を妨げる」と示唆している¹⁾。

またDenis(1979)は、イメージと創造性に関して「両者の測度間には正の相関が見られる。とくに、イメージ能力は高く、同時に創造的能力は低いような者は見当たらない。しかしながら、極めて創造的であると同時にイメージ能力の著しく低い者もいる」と述べている²⁾。本研究は、このDenisの言に着目し、運動のイメージ能力及び舞踊運動のイメージ能力が舞踊における創造性測定の指標となり得るかを検討し、その可能性を探ることを目的とした。

2. 研究方法

*被験者：神戸大学教育学部小学校体育教材研究、及び幼児教育健康の受講者(男子-9名、女子-28名)計37名。

*研究期間：1989年12月～1990年10月

*検査方法と結果の評価

(1) S-A 創造性検査(0版)

実施要領などは、研究(1)³⁾と同じである。

(2) 運動のイメージ能力及び舞踊運動のイメージ能力の検査

① 検査項目の設定

研究(1)で行った、音楽をイメージ刺激とした想像性検査の結果より、そこに書かれたイメージと動きから計30の動きを選択し、検査の項目として設定した。

② 検査の実施手続き

本研究では次の2点より検査を実施した。

- ・運動そのもののイメージをどの程度鮮明に構築できるか(運動のイメージ能力)
- ・研究(1)で連想したイメージを表すのに相応しい動きのイメージをどの程度鮮明に構築できるか(舞踊のイメージ能力)。

検査内容の教示及び検査項目の提示については、実験者が口頭で行った。被験者にはイメージの鮮明さの程度を、「まったく浮かばない」から、「実際に知覚するのと同程度に鮮明に浮かぶ」までの3段階の評定尺度のいずれかに反応するように求めた。イメージを構築するために与えた時間は5秒間で、その際の開眼、閉眼は指示しなかった。

③ 検査結果の評価

被験者より得られた3段階評定尺度を得点化し、その合計点をそれぞれ、個人の「運動のイメージ能力」及び「舞踊のイメージ能力」とみなした。

3. 結果及び考察

(1) イメージの鮮明度と動きの特性について
鮮明にイメージしやすい運動の記述内容には、動かす身体部位や、空間、動き方などが具体的に示されており、これはいわゆる、YoungらのいうDirect Imageryを喚起しやすい動きの記述の仕方であると言える。また、鮮明度の低い動き、すなわちイメージしにくい動きについては、身体部位や空間に関する提示に具体性が少なく、動きを大雑把にとらえたものが多い。

次に、同じ運動を舞踊運動としてイメージした場合、そのイメージの鮮明度の平均値は0.92で、動きだけを提示した場合(1.46)よりかなり低い値になった。これは、イメージをかけあわせた運動として、舞踊運動のイメージを鮮明に構築することの難しさ、すなわち提示されたイメージと運動とを結び付けて考えることの難しさを示すものと考えられる。しかし、舞踊運動として鮮明にイメージしやすい動きの記述内容については、必ずしも具体的な内容の提示が鮮明なイメージを構築するとは言えず、このことから舞踊運動の場合は、先に提示されたイメージと動きのイメージが相互に働き合うことによって、舞踊運動のイメージの鮮明度が増しているのではないかと推測される。

(3) 創造性とイメージ能力の関係

検査の結果より運動及び舞踊運動のイメージ能力は、創造性の活動領域及び思考特性のいずれとも相関関係は見られなかった。

運動のイメージ能力と舞踊のイメージ能力の間には、0.58の相関が見られ、このことから運動と舞踊運動をイメージする力には、共通の要因が働いていると推察される。

また個人別に創造性とイメージ能力の関係をみると、運動及び舞踊のイメージ能力の高い者は必ず創造性得点も高いとは言い切ることができず、Denisのいうイメージ能力と創造性の関係とは異なる結果を得た。

4. まとめ

以上のような結果より、本研究においては舞踊のイメージ能力が創造性測定のための指標となり得るかどうかの可能性を検証することができなかった。その理由としては、Denisのいうイメージ能力と本研究で用いた運動及び、舞踊のイメージ能力が質的に異なるためと推測される。

引用文献

- 1) 水島恵一他編(1986)イメージの人格心理学、誠信書房、p.50
- 2) ドーニ：寺内礼監訳(1989)イメージの心理学、勁草書房、pp.229-230
- 3) 柴真理子他(1990)舞踊における創造性測定の指標に関する研究(1)、第30回舞踊学会大会号